

12月4日(日)

WEB1

8:55~9:00

開会挨拶

小林 誠人(鳥取県立中央病院 高次救急集中治療センター)

9:00~9:30

パネルディスカッション1 関連セッション

座長 奈良 理(手稲溪仁会病院 救命救急センター)

PDC1-1 鹿児島県ドクターヘリが地域医療に与えた影響の分析

▶吉原 秀明(鹿児島市立病院 救急科)

PDC1-2 生活圏優先の広域連携実現の鍵は？

▶小守林靖一(岩手医科大学 岩手県高度救命救急センター)

PDC1-3 奈良県都市部におけるドクターヘリの有効活用

▶木下 有紗(奈良県立医科大学附属病院 高度救命救急センター)

PDC1-4 「ドクターヘリの適正配置」南西諸島エリアを面で支える航空医療

▶米盛 輝武(社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター)

9:35~10:55

パネルディスカッション1 / ドクターヘリの適正配置

座長 猪口 貞樹(海老名総合病院)

小林 誠人(鳥取県立中央病院 高次救急集中治療センター)

PD1-1 隣県現場出動を迅速にするには

▶今 明秀(八戸市立市民病院 救命救急センター)

PD1-2 千葉県北部ドクターヘリにおける未出動事案の実態と改善策

▶杉本 貴史(神戸大学医学部附属病院 救命救急科)

PD1-3 地域の救急医療需要に応じたドクターヘリの適正配置

▶松村 圭祐(鳥取県立中央病院 高次救急集中治療センター)

PD1-4 九州・沖縄におけるドクターヘリの広域連携

▶坂本 照夫(大分大学医学部附属病院 高度救命救急センター)

基調講演

▶猪口 貞樹(海老名総合病院)

11:10~12:10

会長講演

情熱的病院前救急診療

▶小林 誠人(鳥取県立中央病院 高次救急集中治療センター)

12:15～13:15

スポンサードセミナー 1 / 病院前救急診療で動的モニタリングを活用する

共催:エドワーズライフサイエンス株式会社

座長 福島 英賢(奈良県立医科大学高度救命救急センター)

SS1-1 陸を駆けながら

▶岡 和幸(島根大学医学部附属病院 高度外傷センター)

SS1-2 空を翔ながら

▶松村 圭祐(鳥取県立中央病院 高次救急集中治療センター)

13:20～14:05

一般演題 1 / 連携:地域

座長 西山 慶(新潟大学大学院医歯学総合研究科 救命救急医学分野)

01-1 静岡県東部にはドクターヘリはなくてはならないものである

▶柳川 洋一(順天堂大学 医学部附属 静岡病院 救急診療科)

01-2 「航空医療のもたらす有用性」～島嶼県沖縄における多機関連携～

▶米盛 輝武(社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター)

01-3 重症闘牛外傷の一例を通して見えた奄美群島の航空医療の課題

▶平田 悠哉(鹿児島県立大島病院 救命救急センター)

01-4 関西広域連合による京都府のドクターヘリ運用の現状と課題

▶中本 和真(社会福祉法人 恩賜財団 済生会滋賀県病院 救急集中治療科)

01-5 演題取り下げ

01-6 道南ドクターヘリ7年間の運航実績と課題

▶武山 佳洋(市立函館病院 救命救急センター)

01-7 ドクターヘリに精通した救急医派遣による地域救急医療の発展

▶田代 恵太(久留米大学 医学部医学科 救急医学講座)

14:10～14:50

特別報告 / 病院前救急診療の経験を国際災害援助に活かす

座長 小林 誠人(鳥取県立中央病院 高次救急集中治療センター)

病院前救急診療を知らずに国際派遣は怖くていけない!!
～ロシア侵攻後に最初にウクライナ入りした日本人医師として～
▶門馬 秀介(国境なき医師団)

12月4日(日)

WEB1

14:55～15:55

ワークショップ(委員会セッション) / JSASR、JSAS-Iの現状と活用

座長 猪口 貞樹(海老名総合病院)

WS-1 JSAS-Rの現状

▶堤 悠介(水戸医療センター)

WS-2 JSAS-Rの欠損データを見つける工夫(ファイルメーカーアプリの開発)～三重県の場合～

▶説田 守道(伊勢赤十字病院)

WS-3 JSAS-R/JSAS-Iの活用ルール

▶土谷 飛鳥(東海大学医学部 総合診療学系 救命救急医学)

WS-4 JSAS-R活用の具体例1

▶鶴飼 孝盛(防衛大学校)

WS-5 JSAS-R活用の具体例2

▶山崎 早苗(東海大学医学部附属病院)

WS-6 JSAS-Iの現状

▶北村 伸哉(君津中央病院救命救急センター)

WS-7 JSAS-R/JSAS-Iのメンテナンス

▶土谷 飛鳥(東海大学医学部 総合診療学系 救命救急医学)

まとめ

▶猪口 貞樹(海老名総合病院)

16:00～16:30

教育講演 / 病院前救急診療におけるPOCUS

座長 多田 昌弘(埼玉県立小児医療センター 外傷診療科)

携帯型エコーを活用した病院前救急診療 POCUS

▶後藤 保(鳥取県立中央病院高次救急集中治療センター)

16:35～17:45

／ シンポジウム／航空医療がもたらす有用性

座長 永嶋 太 (公立豊岡病院 但馬救命救急センター)

SY-1 ドクターヘリ搬送がDCSに及ぼす時間短縮効果と生存率の検討

▶安松比呂志 (日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター／ショック・外傷センター)

SY-2 説明可能なAIによるDrヘリ搬送外傷症例における緊急止血術の予測

▶川井 廉之 (奈良県立医科大学 高度救命救急センター)

SY-3 防災ヘリコプターによる転院搬送がドクターヘリの負担を軽減する

▶岡 和幸 (鳥根大学医学部附属病院 高度外傷センター)

SY-4 防災ヘリの医師同乗システムによる活動報告

▶岡田 勉 (鳥取県消防防災航空センター)

SY-5 長崎県離島急患搬送はドクターヘリ以外の航空搬送が不可欠である

▶日宇 宏之 (国立病院機構長崎医療センター 高度救命救急センター)

SY-6 遠洋救急100例の症例検討で見えてきた有用性～現状と展望～

▶杉田真理子 (東海大学医学部 総合診療学系 救命救急医学講座)

17:45～17:50

／ 閉会挨拶

小林 誠人 (鳥取県立中央病院 高次救急集中治療センター)

12月4日(日)

WEB2

9:00~9:25

一般演題2 / フライトナース

座長 山下 亜子 (旭川赤十字病院 救命救急センター SCU)

02-1 委員会主催第27、28回フライトナース勉強会オンライン開催報告

▶坂田久美子 (愛知医科大学病院)

02-2 フライトナースのヘルシーワークプレイスづくりに対する活動報告

▶西ノ蘭幸太郎 (久留米大学病院)

02-3 フライトナースのCOVID-19に関連したメンタルヘルスの実態調査

▶宮崎 博之 (日本航空医療学会 フライトナース委員会)

02-4 振り返りシートを用いたフライトナースの看護実践の検討

▶大屋江里子 (富山県立中央病院)

9:30~10:35

パネルディスカッション2 / フライトナースの必要性を科学的に検証する

座長 当麻 美樹 (兵庫県立はりま姫路総合医療センター)
松本みゆき (兵庫県立加古川医療センター 救命救急センター 初療室)

PD2-1 福岡県ドクターヘリ20年~フライトナースの軌跡~

▶真子 敬史 (久留米大学病院)

PD2-2 埼玉式フライトナース教育体制の効果

▶石川 直樹 (埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター)

PD2-3 病院救急救命士のドクターヘリ同乗の効果

▶大津 裕子 (社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 茨城県済生会 水戸済生会総合病院)

PD2-4 フライトナースは処置時間の短縮に寄与する

▶田淵 弘晃 (公立豊岡病院 但馬救命救急センター)

10:40~11:10

教育セミナー1 / 未来への取り組み: 近未来の航空医療, 新たな仲間

座長 本村 友一 (日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター)

ES1-1 「空飛ぶクルマ」による医師搬送システム

▶中野 冠 (慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科付属 SDM 研究所)

12:15～13:15

／ スポンサーセミナー 2

共催:TXP Medical 株式会社

座長 久志本成樹 (東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野)

SS2-1 新潟東部ドクターヘリにおける DX の実装と展開

▶西山 慶 (新潟大学大学院医歯学総合研究科救命救急医学分野)

SS2-2 NSER のドクターヘリ支援機能について

▶園生 智弘 (TXP Medical)

13:20～14:05

／ 一般演題 3 / 施設間搬送

座長 明星 康裕 (石川県立中央病院 救急科)

03-1 消防防災ヘリ、ドクターヘリの長所をいかした小児患者施設間搬送

▶石川祥一朗 (あいち小児保健医療総合センター 救急科)

03-2 コロナ禍で航空機乗り換えを要する空路搬送した 1 症例

▶邑田 悟 (愛媛大学医学部附属病院 救急科)

03-3 ドクターヘリによる転院搬送での搬送元消防の活動時間短縮効果

▶佐々木健介 (愛媛大学医学部)

03-4 丹後医療圏でのドクターヘリによる施設間搬送の有用性について

▶岡 翔 (京都府立医科大学附属北部医療センター)

03-5 回転翼航空機による施設間搬送(転院搬送)活動根拠～違いとまとめ

▶水野 光規 (2005 年日本国際博覧会記念災害救急医療研究財団)

03-6 母体搬送を通して見えた奄美群島の島外搬送システムの課題

▶平 卓也 (鹿児島県立大島病院)

03-7 奄美群島の航空医療における陰圧式固定具の活用

▶才 あゆみ (鹿児島県立大島病院)

12月4日(日)

WEB2

14:10～14:40

一般演題4 / 運行管理・安全管理

座長 中川 儀英 (東海大学医学部 救命救急医学)

04-1 スマートインターチェンジ隣接のランデブーポイントの活用と展望

▶青木 弘道 (東海大学医学部附属病院 高度救命救急センター)

04-2 病院前における安全な COVID-19 抗原検査導入に向けた取り組み

▶石田 桃子 (順天堂大学医学部附属静岡病院)

04-3 ドクターヘリ活動における危険予測について

▶高田 紗妃 (市立釧路総合病院 救命救急センター)

04-4 ドクターヘリ通信センターの BCP を考える

▶團野 翼 (中日本航空株式会社 航空事業本部 運航管理部)

04-5 屋上ヘリポートにおけるドクターヘリ不具合発生時の対応について

▶永田 正文 (セントラルヘリコプターサービス株式会社)

14:45～15:15

教育セミナー2 / 地域のために

座長 瀧上 貴正 (富山大学附属病院 災害・救命センター)

ES2-1 病院前救急診療のスイッチは俺たちが入れる！

▶河本 篤 (豊岡市消防本部 但馬地域 MC 協議会)

15:20～15:50

教育セミナー3 / 次世代へつなげるこのスピリッツ～空中から～

共催: 学校法人ヒラタ学園

座長 徳田 理奈 (公立豊岡病院 但馬救命救急センター)

ES3-1 安全, 迅速, 確実に これぞドクターヘリパイロット

▶加藤 浩次 (学校法人ヒラタ学園)

15:55～16:25

教育セミナー4 / 次世代へつなげるこのスピリッツ～地上から～

共催: 学校法人ヒラタ学園

座長 富岡 穰二 (社会医療法人緑泉会 米盛病院)

ES4-1 安全, 迅速, 確実に 運航管理士の極意

▶大河原 亨 (学校法人ヒラタ学園)

12月4日(日)

WEB2

16:30～17:00

教育セミナー5 / 次世代に活かすこの技術

座長 三上 和之 (学校法人ヒラタ学園)

ES5-1 航空業界へ安心, 安全を届けたい ARVI

▶石塚絵里子(株式会社エムティーアイ ライフ・エンターテインメント・スポーツ事業本部 ライフ事業部 気象サービス部)

17:05～17:35

教育セミナー6 / 近未来では実現可能か? 運航時間延長と夜間飛行

座長 北村 伸哉 (君津中央病院 救命救急センター)

ES6-1 ドクターヘリの夜間運航と地域医療を考える

▶野口 航 (東海大学医学部 総合診療学系 救命救急医学)

ES6-2 出動時間・待機時間の拡大に関する考察 (夜間出動の可能性)

▶辻 康二 (朝日航洋株式会社)

12月4日(日)

WEB3

9:00~9:50

一般演題5 / 連携：多機関・多職種

座長 奥本 克己(熊本赤十字病院)

05-1 島嶼部における消防団とドクターヘリの連携活動

▶犬上 慶子(川崎医科大学附属病院)

05-2 航空医療がつなぐ離島の外傷診療

▶下条 芳秀(島根大学医学部附属病院 高度外傷センター)

05-3 静岡県東部ドクターヘリの特定競技に対する現場医師搬送の分析

▶大坂 裕通(順天堂大学医学部附属静岡病院)

05-4 相互応援協定に基づき2県ドクターヘリが出動した複数傷病者事案

▶柴田 尚明(和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座)

05-5 ドクターヘリと病院救急車の連携～病院救急車導入時の活動～

▶三森 寛士(地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院 高度救命救急センター 看護師)

05-6 ドクターヘリとドクターカーの連携、広島圏域における検討

▶日下あかり(県立広島病院)

05-7 基地病院隣接消防機関でのドクターヘリ未要請事案の検討

▶岡本 博之(手稲溪仁会病院 救命救急センター)

05-8 多職種による日々の振り返り

▶星野 香織(市立釧路総合病院 事務部総務課 道東ドクターヘリ事務局)

9:55~10:35

一般演題6 / 教育(スタッフの育成)

座長 阪本雄一郎(佐賀大学 救急医学)

06-1 次世代を見据えたスタッフ育成と継続教育

▶石川 浩平(順天堂大学医学部附属静岡病院 救急診療科)

06-2 フライトナース養成におけるシミュレーション演習の効果

▶西田 香織(社会福祉法人 恩賜財団 済生会滋賀県病院)

06-3 演題取り下げ

06-4 ウェアラブルカメラを利用した非常勤フライトドクターの研鑽

▶中村 元保(昭和大学 医学部 救急・災害医学講座)

06-5 On-JTのための2ドクター制は現場活動時間に影響するか?

▶上田太一朗(日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター/ショック・外傷センター)

06-6 ドクターヘリ応援勤務のための若手医師教育はどうあるべきか

▶八木 正晴(昭和大学医学部救急・災害医学講座)

10:40～11:00

一般演題7 / 疾患：産科・周産期・小児

座長 佐藤 紘一（鶴岡市立庄内病院）

07-1 超低出生体重児のドクターヘリ搬送事例報告

▶奥井 陽子（鳥取大学医学部附属病院 救命センター）

07-2 鳥取県ドクターヘリにおけるプログラム導入について

▶大原健三郎（鳥取大学医学部附属病院）

07-3 ドクターヘリによる産後出血症例搬送の有用性の検討

▶三宅 喬人（岐阜大学医学部附属病院）

13:20～14:05

一般演題8 / システム・体制・その他

座長 佐藤 格夫（愛媛大学大学院医学系研究科）

08-1 当法人が行ってきた固定翼機を用いた患者搬送

▶旭 大悟（南部徳洲会病院 救急診療科）

08-2 ドクターヘリは人口希薄地域消防の救急車不在時間を短縮する

▶大滝 達也（上川北部消防事務組合）

08-3 D-Call Net アルゴリズム ver.2017 における医師派遣起動の閾値

▶本村 友一（日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター）

08-4 日本航空医療学会レジストリと整合性をもった記録システムの構築

▶三上 裕樹（市立函館病院 看護局）

08-5 JAS-R 登録業務支援システムの開発

▶説田 守道（伊勢赤十字病院 救命救急センター）

08-6 一民間病院のドクターヘリ・ドクターカー症例受け入れ態勢

▶渡邊 知朗（医療法人 藤井会 香芝生喜病院）

08-7 北総救命への適用を想定した空飛ぶクルマの要求仕様と技術成立性

▶中本 亜紀（慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科）

14:10～14:50

一般演題9 / 疾患：成人

座長 日下あかり (県立広島病院 救急科)

- 09-1 四肢外傷による心停止症例に対してターニケットが奏功した一例
▶奥田 宏純 (奈良県立医科大学附属病院)
- 09-2 溺水症例でのドクターヘリの有用性に関して
▶三澤 友誉 (福島県立医科大学)
- 09-3 ドクターヘリで対応した外傷性心肺停止症例の検討
▶岩崎 勇登 (鹿児島市立病院)
- 09-4 離島から大動脈解離を搬送した症例
▶田邊 庸徳 (愛媛大学附属病院)
- 09-5 ドクターヘリで搬送した脳梗塞症例に対する病院前採血の有用性
▶外村 幸孝 (医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 救命救急センター)
- 09-6 八戸ドクターヘリで搬送された院外心停止の搬送距離の考察
▶吉村 有矢 (八戸市立市民病院 救命救急センター)

14:55～15:35

一般演題10 / 現場活動：医療

座長 伊関 憲 (福島県立医科大学医学部 救急医療学講座)

- 010-1 児童多数傷病者交通事故事案でのドクターヘリ活動
▶久城 正紀 (福岡県済生会福岡総合病院 救命救急センター)
- 010-2 Advanced Care Planning を考えさせられたドクターヘリ活動の一例
▶飯村 太郎 (国保直営総合病院君津中央病院)
- 010-3 ドクターヘリ統括者の判断が有効であった多数傷病者事案の一例
▶西川 里穂 (社会福祉法人 恩賜財団 済生会滋賀県病院 救急集中治療科)
- 010-4 ドクターヘリ活動における静脈路確保の成否に影響する要因の検討
▶百枝裕太郎 (国立病院機構 長崎医療センター 高度救命救急センター)
- 010-5 道央ドクターヘリにおける複数傷病者搬送の検討
▶大西 新介 (手稲溪仁会病院)
- 010-6 ゴルフ場発生傷病者に対するドクターヘリ出動の検討
▶池邊 茉莉 (大分大学医学部附属病院 高度救命救急センター)

15:40～16:20

一般演題 11 / 現場活動：看護・その他

座長 野村 昌夫 (済生会滋賀県病院 看護部 救急外来)

O11-1 離島活動における新人フライトナースの活動と今後の課題

▶古角祐太朗 (川崎医科大学附属病院 救急集中治療科)

O11-2 ドクターヘリで搬送された患者との関わりの一例

▶新妻 香織 (独立行政法人国立病院機構仙台医療センター)

O11-3 ドクターヘリにて対応した外国人との会話の実態と看護実践

▶山根 康裕 (社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院)

O11-4 当院ドクターヘリにおける病院前 MTP 戦略

▶平埜 貴久 (埼玉医科大学 総合医療センター 高度救命救急センター)

O11-5 病院前診療における緊急 O 型赤血球輸血製剤の運用方法

▶松本 幹大 (東海大学医学部総合診療学系 救命救急医学)

O11-6 低温環境において急速輸液を想定した際の輸液回路の加温の効果

▶堀田 蛍 (北海道科学大学大学院 保健医療学研究科 保健医療学専攻)

16:25～17:05

一般演題 12 / 消防・防災ヘリ・自衛隊

座長 中村 光伸 (前橋赤十字病院 高度救命救急センター)

O12-1 防災ヘリを用いた新生児内科ドクターによる新生児搬送

▶豊田 泉 (岐阜県総合医療センター 救命救急センター)

O12-2 航空自衛隊固定翼機を用いた担架搬送の現状

▶中西 茂幸 (航空自衛隊 航空機動衛生隊)

O12-3 山岳救助事案におけるヘリコプターの活用と早期医療介入について

▶朝倉 祥 (鳥取県西部広域行政管理組合消防局)

O12-4 消防防災航空隊の救急活動に係る実情について

▶竹内 賢司 (鳥取県消防防災航空センター)

O12-5 防災ヘリ搭乗の航空救急救命士による活動報告

▶湖山健太郎 (鳥取県消防防災航空センター)

O12-6 広島県ドクターヘリの重複要請事案での消防防災ヘリ対応

▶板井 純治 (広島大学大学院救急集中治療医学)

12月4日(日)

WEB3

17:10～17:40

一般演題 13 / 災害・その他

座長 生越 智文（鳥取大学医学部附属病院 高度救命救急センター）

- ▶ **013-1** 大規模災害時における、静岡県の航空機運用：現状と課題
▶ 志賀 一博（聖隷三方原病院 高度救命救急センター 救急科）
- ▶ **013-2** ドローンの救急・災害医療への実装に向けて
▶ 久城 正紀（福岡県済生会福岡総合病院 救命救急センター）
- ▶ **013-3** ドクターヘリ要請からみえた、震災被災地の救急医療に必要なこと
▶ 反町光太郎（温知会 会津中央病院 外傷再建センター）
- ▶ **013-4** 量子アニーリングによる大規模災害時のドクターヘリの効果的運用
▶ 山本 慎也（全力機械株式会社）
- ▶ **013-5** 奄美大島における脳死臓器提供と航空機搬送
▶ 中村健太郎（鹿児島県立大島病院 救命救急センター）